



モーツァルトセミナー第5回

～ LP レコードとピアノ生演奏で繋ぐモーツァルトの人と作品～

第5回：2019年7月7日(日) 14:00～16:00
於：カーサ・モーツァルト

講師：江端津也子 (ピアノ演奏とお話)
特別トーク：中村澄枝様 企画・構成：田嶋克彦

1. 第5回開催にあたって
2. 中村澄枝様の特別トーク「ザルツブルクにまつわるお話と映像」
3. ピアノ生演奏 ピアノソナタ第3番 変ロ長調 K.283
4. ザルツブルクでのモーツァルトの作品 お話とLPレコード鑑賞
5. ピアノ曲における「装飾～飾り」と「楽譜に書かれたもの」の比較
(ソナタ k.545 第2楽章 を例に)
6. ザルツブルクでのモーツァルトの生活について
7. ピアノ生演奏 ピアノソナタ第6番 ニ長調 K.284「デュルニッツ」
(第3楽章の変奏曲の解説も交えて)

ザルツブルクで過ごした2年半、19～21歳のモーツァルト

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト (1756～1791)

1775年(19歳)

- 3月7日 : ザルツブルクに帰郷。以降、約2年半の間故郷にとどまる。
- 4月23日 : 「牧人の王」k.208を初演。
- 6月～12月 : ヴァイオリン協奏曲を4曲作曲。k.211,216,218,219

1776年(20歳)

- 1月 : ピアノ協奏曲 変ロ長調 k.238 作曲。セレナータ・ノットウルナを作曲。k.239
 - 2月 : 3台のピアノのための協奏曲を作曲。k.242
 - 7月 : セレナーダ ニ長調を作曲。k.250/248b
- この他、ミサ曲、リタニア、教会ソナタ、ディヴェルティメントなどをこの年に作曲。

1777年(21歳)

- 1月 : ピアノ協奏曲「ジュノム」ホ長調を作曲。k.271
- 3月14日 : 親子で休暇願をザルツブルク大司教に提出するが、却下される。
- 8月 : 宮廷楽団の辞職願を提出する。
- 9月23日 : 母と共にマンハイム、パリ旅行に出発。